

迷っていた進路 見えてきた 具体的方向性

私は今回の視察研修会に参加して、現地で働く日本人の話聞き、たくさんの方から話を聞くことができました。一番最初に行った国際原子力機関（IAEA）では日本人の方から話を聞きました。その中の一人の方が広報として働いていると言っていました。私はアイデアを出したり、何かを企画する、といったことが好きだったので、その方に直接、広報とは具体的に何をやるのかや、大学ではど



Reporter

若狭高校2年
はきはら ありさ
萩原 照紗

国際機関で働く日本人に 学ぶ視察研修会



WIPOにて

8月初旬に県内の高校生を対象に、IAEA（国際原子力機関）、WHO（世界保健機関）、WIPO（世界知的著作権機関）で働く日本人を訪問し、各機関の役割と日本人の活躍について学びました。

ういった分野に進めば良いのかなどを聞くことができました。進路をどうするかずつと迷っていたけれど、具体的な方向性が見えてきたので話を聞いて本当に良かったなと思います。二番目に訪問した世界保健機関（WHO）でも日本人の方とお会いしました。あらゆる分野の人や専門家が働いていると聞き、自分が想像していたのは医療・保健系の人たち

しか働いていないかと思っていたので驚きました。また、一人の方が、ここには20代の人はほとんどいないし、ここにいる人はみんな違う所でキャリアを積んでから来ている、と言っていました。私はただ漠然と将来、海外で働きたいと思っただけで、大学を卒業してすぐ海外で働けると思っただけで、そんなに甘くないんだなと思いました。

最後に世界的著作権機関（WIPO）を訪問し、二人の日本人の方とお会いしました。著作権や特許は何となく知っていると、思っていたけど話を聞いて驚くことばかりでした。特許を取っても10年で切れるなど、知らないことがたくさんありました。また、職員が利用する施設内の食堂でご飯を食べました。その時、周りを見たら国が違えば言語が違えば人種が違えば人たちが同じ言葉を話さず、楽しそうに食事をしている私と世界の様々な人とコミュニケーションが取りたいと思いました。本当にいい経験ができたので良かったです。たくさん学べたので、とても充実した研修でした。

エネルギー とこと

原子力災害対策は、府県境を越えた広域多岐な課題です。避難計画の策定や訓練の実施など、国が前面に立って自治体を支援し、実効性のさらなる向上に努めることが重要です。

福井県経済団体連合会 会長 **川田 達男**

福井県環境・エネルギー懇話会
〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会 [検索](#)

次回は **9月20日(火)**掲載予定
視察研修会に参加した高校生が
学んだこと・体験したことを
シリーズで紹介していきます。